

【壱岐市】
校務 DX 計画

学校における校務の負担軽減を図り、教職員の長時間労働を削減することで、児童生徒と関わる時間や授業の質を向上させるための時間を増やし、学校全体の指導力の向上、教職員の働きがいの推進につなげる。

1 ネットワークの再構築

本市で導入している統合型校務支援システム「C4＋h」の積極的活用を進め、公簿のデジタル化、デジタル承認、通知表の作成、進学・転学等の県内市町間でのやり取りで業務削減につなげる。また、職員会議等の資料をペーパーレス化することで、時間の有効活用や会議時間の短縮につなげる。

しかし、現在の校務支援システムは、独立したネットワークを構成しているため、学習系ネットワークとの統合ができていない。次世代の校務支援システムの導入に向け、県全体での共同調達等の視点を持ち、ネットワーク構成の統合を目指していく。令和11年度までに長崎県教育委員会と協議しながら、学習系ネットワークとの統合を目指す。

2 校務 DX の推進

教員と保護者間のデジタル化	令和8年度末までに、市内全小・中学校において児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡、学校から保護者へ発信するお便り・配布物、保護者への調査・アンケート等をデジタル化する。
児童生徒の教育活動のデジタル化	市内全小・中学校において児童生徒一人一人に配備されたタブレット端末を、家庭で利用できるようにする。 令和8年度末までに、市内全小・中学校においてこれまで紙ベースで行っていたテストやドリル等をデジタル化する。
校務支援システムの有効活用	C4＋hの会議室や連絡掲示板機能を積極的に使用し、時間の有効活用や業務方法の改善を図る。 教員間での教材等の共有・共用を通して、教職員ごと、年度ごとに新たに作成する資料の数を削減する
その他	これまで実施していた教育委員会主催の対面研修を、その内容や効果等によってはオンライン研修とする。